

《調査報告》

薬局での加熱式タバコ使用者に対する 禁煙支援の実態調査:横断研究

柳川彩瑛、石井正和

帝京平成大学薬学部生理・病態学ユニット

【目的】 薬局の管理薬剤師を対象に、薬剤師の加熱式タバコ使用者に対する禁煙支援の実態およびその必要性について調査を行った。2017年に実施した調査結果と比較することで、加熱式タバコ使用者への禁煙支援の改善状況を確認し、今後の課題を明らかにした。

【方法】 首都圏の薬局の管理薬剤師300名を対象にアンケート調査を行った(調査期間:2020年10月~同年12月)。本研究は2017年調査と比較する横断研究である。

【結果】 回収率は50.0%(150名/300名)だった。2017年調査と比較して、薬局の禁煙環境が改善し、加熱式タバコ使用者に対する禁煙支援も改善されていた。加熱式タバコ使用者への禁煙支援の必要性を感じている薬剤師も前回調査よりも多かった。しかしながら、喫煙者への禁煙支援と比較して、加熱式タバコ使用者への禁煙支援の実施率は低かった。

【結論】 薬局薬剤師による加熱式タバコ使用者への禁煙支援は3年前と比べて改善したが、さらに実施率を高める必要がある。

キーワード: 加熱式タバコ、薬局薬剤師、禁煙支援

はじめに

加熱式タバコは、葉タバコを加熱することによりニコチンを含むエアロゾルを生じさせて、それを吸引する新しいタイプのタバコである¹⁾。タバコ産業の宣伝などにより一般に世間では、加熱式タバコは紙巻きタバコよりも健康への影響が少なく、受動喫煙を減らし周辺環境の汚染を軽減すると受けとめ、需要が増加してきていると思われる²⁾。日本たばこ協会の発表では、2020年4~6月の加熱式タバコの市場占有率は26%まで高まっている³⁾。しかし2020年7月に出されたWHOの報告書では、「加熱式タバコ」については、紙巻きタバコに含まれる有害物質が加熱式タバコでは少ないからといって、使用者の健康に影響がないことを証明するものではな

いとされている⁴⁾。また紙巻きタバコには含まれない有害物質も加熱式タバコに存在することが明らかになったが、これらへの曝露による健康への影響は不明であると記載されている⁴⁾。我々が2017年に行った調査では、薬局薬剤師の61.8%が加熱式タバコ使用者に対する禁煙支援の必要性を感じていたが、患者の加熱式タバコの使用の有無を確認しているのは17.5%にとどまった⁵⁾。2018年に東京都では加熱式タバコも含めて受動喫煙の規制対象にした「東京都子どもを受動喫煙から守る条例」が施行された⁶⁾。2019年4月には、改正健康増進法が施行され、薬局を含む第一種施設の敷地内禁煙が義務化された⁷⁾。このように、この3年間で薬局を取り巻く環境は大きく変化したことから、薬局薬剤師の禁煙支援に関する取り組みにも変化が表れている可能性がある。そこで本研究では、薬局薬剤師の加熱式タバコ使用者に対する禁煙支援の現状とその必要性について再度調査し、改善状況を確認するとともに、今後の課題を明らかにすることを試みた。

連絡先

〒164-8530
東京都中野区中野 4-21-2
帝京平成大学 薬学部 生理・病態学ユニット
石井正和
TEL: 03-5860-4038
e-mail: masakazu.ishii@thu.ac.jp
受付日 2021年2月2日 採用日 2021年5月28日

方法

1. アンケート対象者

東京都医療機関案内サービス内の「t-いんふお」(https://www.himawari.metro.tokyo.jp/qq13/qqport/tomintop/)、かながわ医療情報検索サービス (http://www.iryu-kensaku.jp/kanagawa/)、ちば医療なび (http://www.iryu.pref.chiba.lg.jp/)、埼玉県医療機能情報提供システム (http://www.iryu-kensaku.jp/saitama) 内に登録されている薬局より無作為に抽出した300名の管理薬剤師を対象にアンケート調査を行った。

2. アンケート調査

調査内容は「薬局の禁煙環境」「加熱式タバコに関する意識」「薬局での禁煙支援の必要性」とした。アンケートは選択式と記述式を併用し、回答者の個人情報を守るために無記名とした。アンケートは2020年10月中旬に送付し、12月末までに返信用封筒にて回収した。本調査は帝京平成大学の人対象研究倫理委員会の承認(R02-039)を得た後に実施した。

3. 統計解析

データは平均値±標準偏差、あるいは人数(%)で表記した。本研究では、2017年に実施した調査結果と比較した。またサブ解析として、加熱式タバコ使用者への禁煙支援の必要性について、「とても思う」「やや思う」と回答した必要群と、「あまり思わない」「全く思わない」と回答した不要群との比較も行った。連続変数はstudent's t検定、カテゴリー変数は χ^2 検定またはフィッシャーの直接確率法を用い、 $p < 0.05$ を有意差の判定とした。統計ソフトはJMP Pro 12.2.0 (SAS Institute Inc.)を使用した。

結果

1. アンケート回収率および回答者背景(表1)

回収率は50.0% (150名/300名)であった。平均年齢は43.6歳、薬剤師歴は17.3年、喫煙者は17名(11.3%)、加熱式タバコ使用者は12名(8.0%)だった。2017年調査と比べて本調査の回答者は、年齢が若く($p = 0.018$)、薬剤師歴が短く($p = 0.034$)、喫煙未経験者が多くなった($p = 0.044$)。

表1 回答者背景

	2017	2020	p値
年齢 (平均値 ± SD、歳) 無回答	n = 183 46.6 ± 11.7 3	n = 150 43.6 ± 11.0 2	0.018 *
性別	n = 183 (%)	n = 150 (%)	
男性	85 46.4	64 42.7	0.524
女性	98 53.6	85 56.7	
無回答		1 0.7	
薬剤師歴 (平均値 ± SD、年) 無回答	n = 183 19.8 ± 10.9 1	n = 150 17.3 ± 10.2 2	0.034 *
タバコを吸われますか?	n = 183 (%)	n = 150 (%)	
吸う	16 8.7	17 11.3	0.044 *
かつて吸っていた	50 27.3	24 16.0	
喫煙経験なし	117 63.9	109 72.7	
加熱式タバコを使用しますか?	n = 183 (%)	n = 150 (%)	
使用する	10 5.5	12 8.0	0.512
かつて使用していた	3 1.6	4 2.7	
使用経験なし	169 92.3	133 88.7	
無回答	1 0.5	1 0.7	

*: $p < 0.05$, 2017 vs. 2020

2. 薬局の禁煙支援環境(表2)

2017年調査では「薬局内分煙」や「対策を講じていない」との回答があったが、本調査ではこれらの回答はなかった。敷地内全面禁煙は2017年調査の69名(37.7%)と比較して、本調査では97名(64.7%)と有意に多くなっていた($p < 0.001$)。薬局の禁煙環境以外の項目では2017年調査との違いは認められなかった。

3. 加熱式タバコに対する意識調査(表3)

「加熱式タバコは紙巻きタバコに比べて有害性が低

いと思うか」に対して、2017年調査よりも否定的な意見(「あまり思わない」「全く思わない」)が増え、「わからない」との回答が有意に減少した($p = 0.004$)。また「禁煙しようと思っていない喫煙者にとって、加熱式タバコはより安全な代替品になり得ると思うか」に対して、否定的な意見が2017年調査よりも有意に多くなった($p = 0.017$)。その他の質問では、2017年調査との違いは認められなかった。

「加熱式タバコは紙巻きタバコと同様に、医薬品との相互作用があると思うか」に対して肯定的な意見が

表2 薬局の禁煙支援環境

	2017		2020		p値
薬局の喫煙環境を教えてください。	n = 183	(%)	n = 150	(%)	
敷地内全面禁煙(駐車場等を含む)	69	37.7	97	64.7	< 0.001*
薬局内禁煙	103	56.3	53	35.3	
薬局内分煙	2	1.1	0	0.0	
対策を講じていない	6	3.3	0	0.0	
その他	2	1.1	0	0.0	
薬局の経営スタイルはどれですか?	n = 183	(%)	n = 150	(%)	
チェーン	111	60.7	97	64.7	0.894
個人経営	62	33.9	49	32.7	
その他	3	1.6	3	2.0	
無回答	7	3.8	1	0.7	
OTCの禁煙補助薬は取り扱っていますか?	n = 183	(%)	n = 150	(%)	
取り扱っている	48	26.2	51	34.0	0.157
取り扱っていない	131	71.6	99	66.0	
無回答	4	2.2	0	0.0	
処方薬の禁煙補助薬は取り扱っていますか?	n = 183	(%)	n = 150	(%)	
取り扱っている	111	60.7	91	60.7	0.803
取り扱っていない	68	37.2	59	39.3	
無回答	4	2.2	0	0.0	
薬局でタバコの販売はしていますか?	n = 183	(%)	n = 150	(%)	
はい	7	3.8	3	2.0	0.354
いいえ	171	93.4	147	98.0	
無回答	5	2.7	0	0.0	
従業員でタバコを吸われる方はいますか?	n = 183	(%)	n = 150	(%)	
はい	51	27.9	29	19.3	0.128
いいえ	112	61.2	104	69.3	
把握していない	15	8.2	17	11.3	
無回答	5	2.7	0	0.0	
薬局で加熱式タバコの販売はしていますか? または、販売の予定はありますか?	n = 183	(%)	n = 150	(%)	
はい	4	2.2	2	1.3	0.544
いいえ	174	95.1	148	98.7	
今後販売予定	1	0.5	0	0.0	
無回答	4	2.2	0	0.0	
従業員で加熱式タバコを吸われる方はいますか?	n = 183	(%)	n = 150	(%)	
はい	15	8.2	9	6.0	0.225
いいえ	141	77.0	112	74.7	
把握していない	23	12.6	29	19.3	
無回答	4	2.2	0	0.0	

*: $p < 0.05$, 2017 vs. 2020

表3 加熱式タバコに対する意識調査

	2017	2020	p値
加熱式タバコは紙巻きタバコに比べて有害性が低いと思いますか？	n = 183 (%)	n = 150 (%)	
とても思う	12 6.6	3 2.0	0.004*
やや思う	48 26.2	50 33.3	
あまり思わない	53 29.0	45 30.0	
全く思わない	30 16.4	38 25.3	
わからない	36 19.7	13 8.7	
無回答	4 2.2	1 0.7	
禁煙したいのに禁煙できない喫煙者にとって、加熱式タバコはより安全な代替品になり得ると思いますか？	n = 183 (%)	n = 150 (%)	
とても思う	4 2.2	1 0.7	0.252
やや思う	29 15.8	21 14.0	
あまり思わない	67 36.6	63 42.0	
全く思わない	59 32.2	57 38.0	
わからない	19 10.4	8 5.3	
無回答	5 2.7	0 0.0	
禁煙しようと思っていない喫煙者にとって、加熱式タバコはより安全な代替品になり得ると思いますか？	n = 183 (%)	n = 150 (%)	
とても思う	11 6.0	2 1.3	0.017*
やや思う	47 25.7	28 18.7	
あまり思わない	48 26.2	58 38.7	
全く思わない	52 28.4	50 33.3	
わからない	21 11.5	12 8.0	
無回答	4 2.2	0 0.0	
加熱式タバコが禁煙支援において有効な手段になると思いますか？	n = 183 (%)	n = 150 (%)	
とても思う	1 0.5	1 0.7	0.506
やや思う	23 12.6	15 10.0	
あまり思わない	69 37.7	53 35.3	
全く思わない	66 36.1	69 46.0	
わからない	20 10.9	12 8.0	
無回答	4 2.2	0 0.0	
加熱式タバコが、未成年者などの非喫煙者をタバコに誘導する要因になり得ると思いますか？	n = 183 (%)	n = 150 (%)	
とても思う	47 25.7	39 26.0	0.387
やや思う	56 30.6	62 41.3	
あまり思わない	38 20.8	25 16.7	
全く思わない	14 7.7	9 6.0	
わからない	23 12.6	15 10.0	
無回答	5 2.7	0 0.0	
加熱式タバコの公共機関での利用について制限すべきだと思いますか？	n = 183 (%)	n = 150 (%)	
とても思う	81 44.3	85 56.7	0.281
やや思う	64 35.0	47 31.3	
あまり思わない	16 8.7	9 6.0	
全く思わない	4 2.2	1 0.7	
わからない	12 6.6	8 5.3	
無回答	6 3.3	0 0.0	
加熱式タバコの薬局での販売について制限すべきだと思いますか？	n = 183 (%)	n = 150 (%)	
とても思う	82 44.8	80 53.3	0.098
やや思う	40 21.9	42 28.0	
あまり思わない	28 15.3	11 7.3	
全く思わない	10 5.5	5 3.3	
わからない	17 9.3	12 8.0	
無回答	6 3.3	0 0.0	
加熱式タバコは紙巻きタバコと同様に、医薬品との相互作用はありますか？		n = 150 (%)	
とても思う		74 49.3	(-)
やや思う		60 40.0	
あまり思わない	(-)	4 2.7	
全く思わない	(-)	0 0.0	
わからない		12 8.0	
無回答		0 0.0	
加熱式タバコ使用者は新型コロナに感染しやすいと思いますか？		n = 150 (%)	
とても思う		21 14.0	(-)
やや思う		55 36.7	
あまり思わない	(-)	24 16.0	
全く思わない	(-)	11 7.3	
わからない		39 26.0	
無回答		0 0.0	
加熱式タバコに関する情報を入手するの必要性を感じていますか？		n = 150 (%)	
とても思う		35 23.3	(-)
やや思う		70 46.7	
あまり思わない	(-)	33 22.0	
全く思わない	(-)	7 4.7	
わからない		4 2.7	
無回答		1 0.7	
加熱式タバコに関する情報は、どちらから入手されていますか？(複数回答可)		n = 150 (%)	
新聞・雑誌		26 17.3	(-)
テレビ		28 18.7	
学会・勉強会		17 11.3	
インターネット	(-)	76 50.7	
入手していない		51 34.0	
その他		4 2.7	

*: p < 0.05, 2017 vs. 2020

134名(89.3%)を占めた。また、「加熱式タバコに関する情報はどちらから入手しているか」に対して、「インターネット」が76名(50.7%)、「テレビ」が28名(18.7%)と上位を占めたが、51名(34.0%)が「入手していない」との回答であった。

4. 薬局での喫煙者および加熱式タバコ使用者に対する禁煙支援の現状と必要性(表4、5)

薬剤師の禁煙支援は、「禁煙の勧め」「禁煙補助薬の供給・服薬指導」「禁煙指導」「禁煙外来への受診勧奨」と定義した⁴⁾。

表4 薬局での喫煙者(紙巻きタバコ使用者)に対する禁煙支援の現状と必要性

	2017		2020		p値
患者の喫煙(紙巻きタバコの使用)の有無を確認していますか?	n = 183	(%)	n = 150	(%)	0.296
よくある	93	50.8	84	56.0	
時々ある	69	37.7	58	38.7	
ほとんどない	15	8.2	5	3.3	
全くない	2	1.1	2	1.3	
無回答	4	2.2	1	0.7	
喫煙者(紙巻きタバコの使用)に対して薬剤師による禁煙支援は行われていますか?	n = 183	(%)	n = 150	(%)	0.750
よくある	14	7.7	8	5.3	
時々ある	90	49.2	72	48.0	
ほとんどない	64	35.0	58	38.7	
全くない	12	6.6	12	8.0	
無回答	3	1.6	0	0.0	
喫煙者(紙巻きタバコの使用)に対して薬剤師による禁煙支援は必要だと思いますか?	n = 183	(%)	n = 150	(%)	0.562
とても思う	48	26.2	43	28.7	
やや思う	105	57.4	91	60.7	
あまり思わない	23	12.6	15	10.0	
全く思わない	4	2.2	1	0.7	
無回答	3	1.6	0	0.0	

表5 薬局での加熱式タバコ使用者に対する禁煙支援の現状と必要性

	2017		2020		p値
患者の加熱式タバコの使用の有無を確認していますか?	n = 183	(%)	n = 150	(%)	< 0.001*
よくある	13	7.1	21	14.0	
時々ある	19	10.4	40	26.7	
ほとんどない	69	37.7	53	35.3	
全くない	79	43.2	35	23.3	
無回答	3	1.6	1	0.7	
あなたの勤務する薬局で、加熱式タバコ使用者に対して薬剤師による禁煙支援は行われていますか?	n = 183	(%)	n = 150	(%)	0.042*
よくある	2	1.1	1	0.7	
時々ある	13	7.1	22	14.7	
ほとんどない	68	37.2	66	44.0	
全くない	97	53.0	61	40.7	
無回答	3	1.6	0	0.0	
薬局の薬剤師による加熱式タバコ使用者に対する禁煙支援は必要だと思いますか?	n = 183	(%)	n = 150	(%)	0.021*
とても思う	32	17.5	38	25.3	
やや思う	81	44.3	76	50.7	
あまり思わない	34	18.6	26	17.3	
全く思わない	11	6.0	4	2.7	
わからない	22	12.0	6	4.0	
無回答	3	1.6	0	0.0	

*: p < 0.05, 2017 vs. 2020

患者の喫煙状況を確認しているのは142名(94.7%)だったが、喫煙者への禁煙支援を行っているのは80名(53.3%)にとどまった。一方、喫煙者への薬剤師による禁煙支援は134名(89.4%)が必要と感じていた。これらの結果は2017年調査とほぼ同様であった。

患者の加熱式タバコの使用状況を確認しているのは61名(40.7%)、禁煙支援を行っているのは23名(15.3%)にとどまったものの、どちらも「全くない」

との回答が減り、さらに薬剤師による加熱式タバコ使用者への禁煙支援は114名(76.0%)が必要と感じており、2017年調査と比べて改善が認められた($p < 0.001$, $p = 0.042$, $p = 0.021$)。

5. サブ解析結果(表6~8)

加熱式タバコ使用者への禁煙支援を必要だと感じている必要群(114名)と不要だと感じている不要群(30名)に分けて解析を行った。回答者および薬局背

表6 回答者背景および薬局の禁煙支援環境(サブ解析)

	必要	不要	p値
年齢(平均値 ± SD、歳)	n = 114 43.0 ± 10.8	n = 30 43.9 ± 11.4	0.689
無回答	2	0	
性別	n = 114 (%)	n = 30 (%)	0.140
男性	47 41.2	17 56.7	
女性	66 57.9	13 43.3	
無回答	1 0.9	0 0.0	
薬剤師歴(平均値 ± SD、年)	n = 114 17.3 ± 10.7	n = 30 16.0 ± 8.8	0.541
無回答	1	1	
タバコを吸われますか?	n = 114 (%)	n = 30 (%)	0.459
吸う	12 10.5	5 16.7	
かつて吸っていた	17 14.9	6 20.0	
喫煙経験なし	85 74.6	19 63.3	
加熱式タバコを使用しますか?	n = 114 (%)	n = 30 (%)	0.102
使用する	7 6.1	5 16.7	
かつて使用していた	4 3.5	0 0.0	
使用経験なし	103 90.4	24 80.0	
無回答	0 0.0	1 3.3	
薬局の喫煙環境を教えてください。	n = 114 (%)	n = 30 (%)	0.542
敷地内全面禁煙(駐車場等を含む)	73 64.0	21 70.0	
薬局内禁煙	41 36.0	9 30.0	
無回答	0 0.0	1 3.3	
薬局の経営スタイルはどれですか?	n = 114 (%)	n = 30 (%)	0.478
チェーン	77 67.5	17 56.7	
個人経営	34 29.8	12 40.0	
その他	2 1.8	1 3.3	
無回答	1 0.9	0 0.0	
OTCの禁煙補助薬は取り扱っていますか?	n = 114 (%)	n = 30 (%)	0.339
取り扱っている	41 36.0	8 26.7	
取り扱っていない	73 64.0	22 73.3	
処方薬の禁煙補助薬は取り扱っていますか?	n = 114 (%)	n = 30 (%)	0.701
取り扱っている	69 60.5	17 56.7	
取り扱っていない	45 39.5	13 43.3	

表7 加熱式タバコに対する意識調査(サブ解析)

	必要		不要		p値
加熱式タバコは紙巻きタバコに比べて有害性が低いと思いますか？	n = 114	(%)	n = 30	(%)	0.029*
とても思う	1	0.9	2	6.7	
やや思う	34	29.8	14	46.7	
あまり思わない	40	35.1	4	13.3	
全く思わない	32	28.1	6	20.0	
わからない	7	6.1	3	10.0	
無回答	0	0.0	1	3.3	
禁煙したいのに禁煙できない喫煙者にとって、加熱式タバコはより安全な代替品になり得ると思いますか？	n = 114	(%)	n = 30	(%)	0.026*
とても思う	1	0.9	0	0.0	
やや思う	11	9.6	10	33.3	
あまり思わない	51	44.7	10	33.3	
全く思わない	48	42.1	9	30.0	
わからない	3	2.6	1	3.3	
禁煙しようと思っていない喫煙者にとって、加熱式タバコはより安全な代替品になり得ると思いますか？	n = 114	(%)	n = 30	(%)	0.301
とても思う	1	0.9	1	3.3	
やや思う	20	17.5	8	26.7	
あまり思わない	48	42.1	8	26.7	
全く思わない	40	35.1	10	33.3	
わからない	5	4.4	3	10.0	
加熱式タバコが禁煙支援において有効な手段になると思いますか？	n = 114	(%)	n = 30	(%)	0.310
とても思う	0	0.0	1	3.3	
やや思う	11	9.6	4	13.3	
あまり思わない	42	36.8	11	36.7	
全く思わない	56	49.1	12	40.0	
わからない	5	4.4	2	6.7	
加熱式タバコが、未成年者などの非喫煙者をタバコに誘導する要因になり得ると思いますか？	n = 114	(%)	n = 30	(%)	0.232
とても思う	33	28.9	5	16.7	
やや思う	49	43.0	12	40.0	
あまり思わない	17	14.9	7	23.3	
全く思わない	5	4.4	4	13.3	
わからない	10	8.8	2	6.7	
加熱式タバコの公共機関での利用について制限すべきだと思いますか？	n = 114	(%)	n = 30	(%)	0.106
とても思う	68	59.6	14	46.7	
やや思う	36	31.6	10	33.3	
あまり思わない	5	4.4	4	13.3	
全く思わない	0	0.0	1	3.3	
わからない	5	4.4	1	3.3	
加熱式タバコの薬局での販売について制限すべきだと思いますか？	n = 114	(%)	n = 30	(%)	0.123
とても思う	65	57.0	11	36.7	
やや思う	32	28.1	10	33.3	
あまり思わない	6	5.3	5	16.7	
全く思わない	3	2.6	2	6.7	
わからない	8	7.0	2	6.7	
加熱式タバコは紙巻きタバコと同様に、医薬品との相互作用はありますか？	n = 114	(%)	n = 30	(%)	(-)
とても思う	60	52.6	13	43.3	
やや思う	43	37.7	15	50.0	
あまり思わない	3	2.6	1	3.3	
全く思わない	0	0.0	0	0.0	
わからない	8	7.0	1	3.3	
加熱式タバコ使用者は新型コロナウイルスに感染しやすいと思いますか？	n = 114	(%)	n = 30	(%)	0.020*
とても思う	17	14.9	4	13.3	
やや思う	48	42.1	6	20.0	
あまり思わない	17	14.9	7	23.3	
全く思わない	5	4.4	6	20.0	
わからない	27	23.7	7	23.3	
加熱式タバコに関する情報を入手する必要性を感じていますか？	n = 114	(%)	n = 30	(%)	< 0.001*
とても思う	32	28.1	2	6.7	
やや思う	62	54.4	7	23.3	
あまり思わない	16	14.0	15	50.0	
全く思わない	3	2.6	4	13.3	
わからない	0	0.0	2	6.7	
加熱式タバコに関する情報は、どちらから入手されていますか？(複数回答可)	n = 114	(%)	n = 30	(%)	0.450 0.393 0.199 0.244 0.017*
新聞・雑誌	22	19.3	4	13.3	
テレビ	23	20.2	4	13.3	
学会・勉強会	16	14.0	1	3.3	
インターネット	63	55.3	13	43.3	
入手していない	31	27.2	15	50.0	
その他	4	3.5	0	0.0	

*: p < 0.05, 必要 vs. 不要

表8 薬局での禁煙支援の現状と必要性(サブ解析)

	必要		不要		p値
患者の喫煙(紙巻きタバコの使用)の有無を確認していますか?	n = 114	(%)	n = 30	(%)	0.065
よくある	68	59.6	13	43.3	
時々ある	44	38.6	13	43.3	
ほとんどない	2	1.8	2	6.7	
全くない	0	0.0	1	3.3	
無回答	0	0.0	1	3.3	
喫煙者(紙巻きタバコの使用)に対して 薬剤師による禁煙支援は行われていますか?	n = 114	(%)	n = 30	(%)	0.019*
よくある	7	6.1	1	3.3	
時々ある	61	53.5	8	26.7	
ほとんどない	40	35.1	16	53.3	
全くない	6	5.3	5	16.7	
喫煙者(紙巻きタバコの使用)に対して 薬剤師による禁煙支援は必要だと思いますか?	n = 114	(%)	n = 30	(%)	< 0.001*
とても思う	42	36.8	0	0.0	
やや思う	69	60.5	17	56.7	
あまり思わない	3	2.6	12	40.0	
全く思わない	0	0.0	1	3.3	
患者の加熱式タバコの使用の有無を確認していますか?	n = 114	(%)	n = 30	(%)	0.043*
よくある	15	13.2	6	20.0	
時々ある	38	33.3	2	6.7	
ほとんどない	39	34.2	14	46.7	
全くない	22	19.3	7	23.3	
無回答	0	0.0	1	3.3	
あなたの勤務する薬局で、加熱式タバコ使用者に対して 薬剤師による禁煙支援は行われていますか?	n = 114	(%)	n = 30	(%)	0.420
よくある	1	0.9	0	0.0	
時々ある	20	17.5	2	6.7	
ほとんどない	52	45.6	14	46.7	
全くない	41	36.0	14	46.7	

*: p < 0.05, 必要 vs. 不要

景では、両群間に違いは認められなかった。

加熱式タバコに対する意識に関するサブ解析では、必要群では「加熱式タバコは紙巻きタバコに比べて有害性が低いと思うか」「禁煙したいのに禁煙できない喫煙者にとって、加熱式タバコはより安全な代替品になり得ると思うか」に対して否定的な意見が有意に多く(p = 0.029, p = 0.026)、「加熱式タバコ使用者は新型コロナに感染しやすいと思うか」、「加熱式タバコに関する情報を入手する必要性を感じているか」に対して肯定的な意見が有意に多かった(p = 0.020, p < 0.001)。

禁煙支援の現状と必要性に関するサブ解析では、喫煙者への禁煙支援の状況とその必要性、加熱式タバコの使用の確認において両群間で有意な差が認められた(p = 0.019, p < 0.001, p = 0.043)。

考 察

1. 加熱式タバコ使用者への禁煙支援

2017年調査⁵⁾と比較して、加熱式タバコ使用者に対する禁煙支援の状況が改善した背景として、2019年4月に施行された改正健康増進法や薬剤師の喫煙状況の改善が関連していると考えられる。薬局を含む第一種施設の敷地内禁煙が義務化されたことで、敷地内全面禁煙の薬局が増え禁煙環境が大きく改善した。我々が日本禁煙学会専門医および認定医を対象に行った調査では、医師は薬局でより良い禁煙支援を実施するためには敷地内全面禁煙が望ましいと回答していたが⁸⁾、法の施行によりその環境に近づいた。2017年調査では、喫煙者や加熱式タバコ使用者である薬局薬剤師は、加熱式タバコ使用者への禁煙支援の必要性を感じていない割合が高いことを報告した⁵⁾。今後さらに薬局薬剤師の喫煙者や加熱式タバコ使用者が減り、禁煙支援に積極的な薬剤師が増

えることを期待したい。

加熱式タバコはニコチンを含んでいるが販売されて間もないため、長期使用による健康被害などの有害性についてはまだわかっていない⁹⁾。しかし、エアロゾルから紙巻きタバコと比較してアセトアルデヒドで22%、アクリロレインで82%などの有害成分が検出されたことや⁹⁾、受動喫煙が生じることが報告されており⁹⁾、加熱式タバコは紙巻きタバコと同等の有害性を持つ可能性がある。2017年調査と比較して、加熱式タバコの有害性についての認識が改善し、また禁煙しようと思っていない喫煙者には加熱式タバコが安全な代替品にならないと考える薬剤師が有意に増えていた。このように、3年前と比較して薬剤師の加熱式タバコに関する考え方にも変化があらわれていた。

2. 今後の課題

本研究では、前回調査と同じ対象者で追跡調査を行った研究ではないため、時間的な関連なども含めた調査ができなかった。

本アンケート調査の自由記述欄には、「患者は紙巻きタバコと加熱式タバコは同じタバコであると考えている」という薬剤師の記述があり、一般市民の中には紙巻きタバコと加熱式タバコを別物であると考えている人もいることを、薬剤師が認識していない可能性が考えられる。インターネット上の質問サイトで、加熱式タバコに関する質問を解析した研究では、加熱式タバコは害が少ないと誤解していることや、紙巻きタバコから加熱式タバコへの移行が減煙・禁煙に繋がると誤解している方が多かった¹⁰⁾。また、喫煙専用室では飲食不可、加熱式タバコ専用の喫煙専用室では軽食の飲食が可能となっているように、同じタバコでも扱いに違いがあることが、一般人の誤認識に繋がっているように思われる。誤認識をしている患者に喫煙の有無を確認する場合、加熱式タバコの使用の有無についても確認を行わないと正しい患者情報が得られず、薬物治療にも影響が出てしまう可能性がある。我々は2017年の調査を報告した際、患者の初回来局時、薬剤師が患者情報を聞き取る際には、紙巻きタバコと加熱式タバコを分けて喫煙の有無を確認するなどの工夫が必要であることを提案した⁵⁾。さらに、加熱式タバコ使用者に対して薬剤師が禁煙支援するために、加熱式タバコが与える健康への影響について情報を薬剤師に広める必要があ

ることを報告した⁵⁾。本調査より、今後もこれらの取り組みは必要であることが再確認できた。

加熱式タバコ使用者に対する禁煙支援の実施状況は2017年調査に比べると改善されていたが、喫煙者に対する禁煙支援の実施状況に比べると改善すべき点が多い。加熱式タバコ使用者への禁煙支援の必要性を感じていない薬剤師は、喫煙者の禁煙支援についても消極的であった。また、加熱式タバコに関して間違った認識をしており、加熱式タバコに関する情報を入手する必要性を感じておらず、情報収集も行っていなかった。2015年10月に厚生労働省は「患者のための薬局ビジョン」を策定し、保険薬局には健康サポート機能の充実が求められている¹¹⁾。日本薬剤師会の健康サポート薬局研修実施要領には知識習得型研修の項目として禁煙支援があり、禁煙支援は地域住民の健康の維持・増進を促すために重視されている¹²⁾。また厚生労働省の禁煙支援マニュアルでは、保健医療従事者が加熱式タバコの使用に対して、加熱式タバコの使用をやめてもらうよう情報提供や支援を行うことが重要であると記載されている¹³⁾。2020年の調査はコロナ禍で実施したが、加熱式タバコ使用者への禁煙支援に消極的である不要群の43%は、加熱式タバコ使用者は新型コロナウイルスに感染しやすいとは思わないと回答していた。紙巻きタバコや電子タバコの利用者は新型コロナウイルスに感染しやすいとの報告がある¹⁴⁾。また喫煙者や喫煙経験者は、新型コロナ感染後に重症化しやすいことも知られている¹⁵⁾。加熱式タバコと新型コロナウイルス感染との関連を調査した研究はないが、加熱式タバコにはニコチンやさまざまな有害成分も含まれることから⁹⁾、紙巻きタバコや電子タバコと同様に呼吸器を傷害し感染リスクを高めると考えるのが妥当であると考えられる。

薬局薬剤師が加熱式タバコの禁煙支援を行うためには、まずは薬剤師自身が加熱式タバコに関する情報を把握する必要がある。自由記述欄では、「有害性についての詳しいデータがほしい」や「公式なエビデンスがあれば強く禁煙を勧められる」といった薬剤師の意見があった。情報入手を行っていない薬剤師もいることから、今後もインターネットや講習会など、さまざまな手段で有害性のデータを含めた加熱式タバコに関する情報を薬剤師に伝える取り組みが必要である。

謝 辞

本調査にご協力いただいた薬剤師の皆様に感謝致します。

引用文献

- 1) 櫻田尚樹, 内山茂久, 戸次加奈江, ほか: 無煙たばこ, 電子たばこ等新しいたばこおよび関連商品をめぐる課題. 保健医療科学 2015; 5: 501-510.
- 2) 櫻田尚樹: 新しいタバコおよび関連商品をめぐる公衆衛生課題. 学術の動向 2017; 6: 60-64.
- 3) 日本経済新聞: 加熱式たばこ、4~6月98億本 協会が初公表. 2020年8月31日. <https://www.nikkei.com/article/DGXMZO63239450R30C20A8XQH000/> (閲覧日: 2021年3月13日)
- 4) WHO: WHO statement on heated tobacco products and the US FDA decision regarding IQOS. <https://www.who.int/news/item/27-07-2020-who-statement-on-heated-tobacco-products-and-the-us-fda-decision-regarding-iqos> (閲覧日: 2021年1月18日)
- 5) 山本彩加, 石橋正祥, 大西 司, ほか: 薬局での非燃焼・加熱式タバコの販売と薬剤師の非燃焼・加熱式タバコ使用者に対する禁煙支援の実態調査. 禁煙会誌 2018; 13: 37-47.
- 6) 東京都: 東京都子どもを受動喫煙から守る条例. 東京都広報. http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/kensui/kitsuen/kodomojourei/291013_tokyoto_koho.pdf (閲覧日: 2021年1月18日)
- 7) 東京都福祉保健局: 受動喫煙防止対策. 施設管理者向けハンドブック. <https://www.fukushihoken.metro.tokyo.lg.jp/kensui/kitsuen/leaflet/shisetsu-kanrihandbook.files/shisetsukanrisyahandbook.pdf> (閲覧日: 2021年1月18日)
- 8) 石井正和, 大西 司, 長野明日香, ほか: 保険薬局薬剤師に期待される禁煙支援業務に関する調査研究. 禁煙会誌 2015; 10: 85-93.
- 9) Auer R, Concha-Lozano N, Jacot-Sadowski I, et al.: Heat-not-burn tobacco cigarettes: smoke by any other name. JAMA Inter Med 2017; 177: 1050-1052.
- 10) 宮岡優作, 石橋正祥, 石井正和: Yahoo!知恵袋における加熱式タバコに関する質問の発言解析. 保健の科学 印刷中.
- 11) 厚生労働省: 患者のための薬局ビジョン. 2015年10月. <http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/0000102179.html> (閲覧日: 2021年1月18日)
- 12) 公益社団法人日本薬剤師会: 「健康サポート薬局研修」実施要領. 2017年9月. <http://www.nichiyaku.or.jp/yakuzaishi.php?id=1128> (閲覧日: 2021年1月18日)
- 13) 厚生労働省 健康局 健康課: 禁煙支援マニュアル(第二版)増補改訂版. 2018年5月. <https://www.mhlw.go.jp/topics/tobacco/kin-en-sien/manual2/dl/addition01.pdf> (閲覧日: 2021年1月18日)
- 14) Gaiha SM, Cheng J, Halpern-Felsher B: Association between youth smoking, electronic cigarette use, and COVID-19. J Adolesc Health 2020; 67: 519-523.
- 15) Gülsen A, Yigitbas BA, Uslu B, et al.: The effect of smoking on COVID-19 symptom severity: Systematic Review and Meta-Analysis. Pulm Med. 2020; doi: 10.1155/2020/7590207.

Survey on support for smoking cessation for heated tobacco products users by pharmacists: A cross-sectional study

Sae Yanagawa, Masakazu Ishii*

Abstract

Objective: We investigated the current status and necessity of cessation support for heated tobacco products (HTPs) users by pharmacists. Moreover, the results of this study were compared with those of the 2017 survey. We confirmed the improvement of cessation support for HTPs users in community pharmacy, and clarified future issues.

Methods: A survey was sent to 300 pharmacists in community pharmacies in the Tokyo metropolitan area (survey period: October 2020-December 2020). This study is a cross-sectional study compared to the 2017 survey.

Results: The questionnaire response rate was 50.0% (150/300 pharmacists). Compared with the 2017 survey, the non-smoking environment in pharmacies and smoking cessation assistance for HTPs users improved. More pharmacists felt the need for smoking cessation assistance for HTPs users than in the previous survey. However, the implementation rate of smoking cessation assistance for HTPs users was lower than that for smoking cessation assistance for cigarette smokers.

Conclusion: Support for smoking cessation by pharmacists for HTPs users has improved compared with three years ago, but the implementation rate needs to be further increased.

Key words

HTPs, community pharmacist, smoking cessation support

*Division of Physiology and Pathology, Faculty of Pharmaceutical Sciences, Teikyo Heisei University